

# ■ 研究推進委員会 2020 年度 活動報告書

提出日：2021 年 3 月 27 日

名 称	生態工学研究推進委員会
委員長	氏名（所属）：倉本宣（明治大学）
幹 事	氏名（所属）：八色宏昌（景域計画（株）） 連絡先（e-mail アドレス）：yairo@keiiki.co.jp
その他 構成員	氏名（所属）： 板垣範彦（いきものランドスケープ）、井上剛（（株）地域環境計画）、 裏戸秀幸（横浜市）、大澤啓志（日本大学）、勝野武彦（日本大学名誉教授）、 亀山章（（公財）日本自然保護協会）、黒田貴綱（日本大学）、園田陽一（（株）地域環境計画）、趙賢一（（株）愛植物設計事務所）、徳江義宏（日本工営（株））、並木崇（（公財）世界自然保護基金ジャパン）、中村忠昌、 春田章博（春田環境計画事務所）、日置佳之（鳥取大学）、宮本渉（（株）地域環境計画）、森本幸裕（（公財）京都市都市緑化協会）、養父志乃夫（和歌山大学）、渡邊敬太（大成建設（株））
今年度 活動報告 成果	<p>1. 「生きもの技術ノート」および「用語解説」の企画編集 月に1回の研究推進委員会を開催し、学会誌に連載中の「生きもの技術ノート」（年4回）および「用語解説」の企画立案、編集作業を実施し、学会誌に「生きもの技術ノート」を年4回連載した。テーマは「紫外線LEDを用いた小型軽量ライトトラップ光源の開発」、「LPWA（LoRa）を活用した携帯圏外域におけるデータ通信技術」、「イヌによるカミツキガメ産卵巣等探索技術」、「コロナ禍で閉鎖された海浜公園でのコアジサシの集団営巣」である。同時に用語解説として「SDGs コンパス（SDGs Compass）」、「保存活用計画」、「民間保護地域（Privately Protected Areas）」、「EU 生息地指令と Natura2000」を掲載した。</p> <p>2. シンポジウムの開催 令和2年度日本造園学会全国大会において研究委員会フォーラム「都市公園における生きもののデータ保存方法に関する提言」を開催した。</p> <p>3. 令和3年度日本造園学会全国大会研究委員会フォーラムの企画立案 令和2年度に引き続き、令和3年度日本造園学会全国大会研究委員会フォーラムの開催を目指し、テーマ「生きもの主体の庭（空間）づくりの理論と技術」を企画し、ミニフォーラムに応募した。</p>